



『市長と語る 市民参画のまちづくり』

楠田大蔵市長 プロフィール

- 昭和50年(1975年)4月20日生まれ(46歳)
- 東京大学法学部卒 (株)三井住友銀行行員
- 衆議院議員3期(28歳初当選) 防衛大臣政務官など歴任
- 平成30年(2018年)1月28日 太宰府市長 就任
現在2期目

年度初めのお忙しい時期ではありましたが、楠田市長と対談させていただきました。

◇ 楠田市長とうめさろんの接点

うめ:うめさろんスタッフ

市長:楠田市長

うめ:楠田市長とは、令和元年初日に行われた『令和』の人文字プロジェクトで一緒に過ごした印象が強く残っています。私たちもボランティアを募ったり、前日の下絵描きに参加したりと忙しかったのですが思い出深い一日です。市長はどのように感じておられましたか？

市長:思い起こせば、人が集まりすぎて事故が起きないか、交通渋滞に対応できるかなど、市長として心配で気が気じゃなかったのが本音です。ですが、結果的には参加された方々や全国の皆さんにとっても喜んでもらったので良かったですね。今でも大宰府政庁跡の人文字の写真を市の広報物などによく使っていますよ。

うめ:市民の力が結集したイベントでしたね。



◇ 太宰府市がめざす“まちづくり”について

うめ:市長が描いているまちづくりについてお聞かせください。

市長:今の時代の流れとして市民に参画していただきながら一緒にまちづくりを進める必要性を強く感じています。「協働」という言葉も良いが、私は「新しい公共」という言葉を意識的に使っています。行政だけでは不十分な場面も増えてきているので、市民の皆さんにも積極的にまちづくりに参画していただけたら、上手いくことも増えてくるのではないかと考えています。コロナ禍ではありますが今こそチャンス！今年度は役所内でチームを組んで議論を重ね、様々な課題に取り組んでいこうと思います。まちづくりの様々な場面で活躍するリーダーの育成にも力を入れていきたいですね。

うめ:市民が自発的にまちづくりに参画できるような新しい取り組みがなされると良いですね。

◇ 市民活動の活性化について

うめ: 太宰府市は市民活動や地域活動が活発なまちだと思うのですが、さらに活性化するためにはどのようなことが必要だと思われますか？

市長: 難しいところですが、人文字プロジェクトの良い例もあるし、イベントや福祉の支え合い、災害など何かきっかけがあると物事が進むという部分があります。まずは、やってみることが大事なのではないでしょうか。市民と行政がお互いに信頼感をもって、一緒に何かできればいいのではと思っています。市民も役所の職員も「太宰府愛」を持って自発的に行動するようになっていくのが理想ですね。

うめ: 私たちも市民活動・地域活動が盛り上がるよう、市民と行政の橋渡しとして頑張ります。

◇ 積極的にまちづくりに参加できる機会の創出について



うめ: まちづくりに意欲のある市民に向けた、まちづくり参画の場について、どうお考えですか？

市長: 今年は市政40周年でもあるので、実際にイベントなどを開催し、市民の方に出来るだけ関わっていただければと考えています。市民と行政がお互いに信頼できる関係づくりを大切にしながら進めていきます。

うめ: コロナ禍で市民活動団体等も活動に消極的になっていますが、参加の機会があればまた新しい気持ちで始められるかもしれませんね。

市長: 市民に関心を持っていただけるような取り組みをしていきたいと思っています。

◇ 市民活動団体との様々な連携について

うめ: うめさろんでは様々な分野の団体と連携を図る企画などを今後も行っていく予定ですが、市として市民との連携に力を入れていきたいと感じる分野はありますか？

市長: まず安心・安全という点で災害の分野は重要だと感じています。イベントやまつりのような地域活性の分野もありますし、他にも子どもや高齢者のケアであったり、引きこもりの方の対応であったりあらゆる分野が考えられるので、どの部分も大切にしていきたいところです。しかし職員だけの対応には限界があるのも現実です。

うめ: 市長は企業や学校との連携も幅広くすすめていらっしゃいますね。

市長: これからも積極的に新たな企業や団体と、さらなる連携を進めていきたいと考えています。

うめ: 市が推し進めていくことに合わせて、私たちも市民活動の場につなげていきたいと思います。

市長: 気持ちを奮い立たせてさらに頑張ります。うめさろんの活動にも期待しています。

うめ: 最後に楠田市長の熱い思いをお聞かせください。

市長: 市民や職員の“太宰府市をより良くしていこう”という思いを少しでも実現していけるよう、私が着火剤となり活動の動機付けをしていくことが必要だと感じました。これからも頑張っ参ります。

報告

令和3年度 新たに取り組みました！

◆持ち込み講座開催！

宝満山の
ヒキガエル



刈萱の関跡と
かるかや物語

◆月イチカフェ開催！



みんなで守るを考える



ふるさと納税



シラスリボン

…他多数

◆アンケート回答者プレゼント企画

- 歩かね太宰府 2 名様参加権
- 宝満山のヒキガエルストラップ
- 月桃茶
- 梅みそ
- ワイン



令和3年度は「うめさろん」の受託団体が変わって1年目でした。手探りながら新たな取り組みをしてみました。いかがだったでしょうか。

今年度は、市民活動をしている皆さんと地域貢献活動をしている企業との橋渡しに挑戦します。

活動紹介

一般社団法人 終活支援ネットワーク

「一般社団法人 終活支援ネットワーク」は、高齢者の支援と飲食店営業の主に2つの活動をしています。「終活は、自分らしく生きていくための備え」であり、お一人おひとりに寄り添い、終活に関わる具体的な課題の解決に向けた支援を行っています。

● 具体的支援内容

- ・日常生活の支援（買い物・見守りなど）
- ・家財のお片付け（生前・遺品）
- ・相続・遺言書の作成
- ・介護の準備
- ・成年後見制度の利用
- ・改葬・墓じまい



飲食店営業では、3月にいきいき情報センター1階にオープンした「利七庵」の営業を行っています。利七庵は、代表の森田さん（上写真の左側）が打つ、本格手打ちそばのお店です。

11時半～14時はそばタイム、14時～17時はカフェタイムです。カフェタイムでは、おそばカフェ・終活無料相談処として高齢者をはじめとする地域の方々へ憩いの場所を提供しています。

アンケート回答者プレゼント企画

この「だんぼ通信95号」を読んで、面白かった記事や分かりにくかった点・その他ご意見・ご感想などを下記へお寄せください。お名前・住所・電話番号をお忘れなく。

FAX : 092-918-3644

メール : dazaifu-volusen@wish.ocn.ne.jp

令和4年5月15日までにご応募頂いた方の中から、抽選で1名様にプレゼント！

今回のプレゼントは、「おそば処 利七庵」のお食事券1,000円分です！



太宰府市NPO・ボランティア支援センター「うめさろん」

太宰府市五条3丁目1番1号 いきいき情報センター 2階

平日 10:00～18:00 第2・第4土曜日 12:00～18:00

(休業日 毎週日曜日、祝日、毎月最終水曜日、第1・3・5土曜日)

8月13日～15日、12月28日～1月4日)

TEL 092-918-3633 FAX 092-918-3644

MAIL dazaifu-volusen@wish.ocn.ne.jp

H P <http://umesalon.sakura.ne.jp/>



ホームページ



メール